

# みやぎSDGs Farm



## みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に、宮城県内の企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組みです。その推進役となる人材「みやぎSDGsアンバサダー」を育成するプログラム「みやぎSDGs塾」を、2021年11月から河北新報社が運営し開講しています。



詳しくはこちらから

賛同企業  
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]  
河北新報社営業局  
TEL. 022-211-1318  
koukoku@po.kahoku.co.jp

一級建築士事務所として、「建てては壊す」を繰り返す家づくりではなへりせー  
ルバリュー(再販売価値)の高い設計水準を実現します。



超高齢社会における資産形成・管理として、長年愛着を持って生活してきた「我が家」を子孫へ託す「住み継ぎ」。他人である子育て世代へ想いを渡す「住み繋ぎ」という選択肢を創出します。それにより、一般的に20年以上経てば資産価値がなくなっていくと言われる木造住宅を財産へ変えることで、持続可能な社会へ貢献します。そのため私は私たちが働きたいを持ち、常に学び続ける姿を「家」だけではなく「人」へつなぎ続けていくことも必要だと思えます。

## パパの会社に入社したい

スイコー 千葉由章さん

「女性が活躍できる会社」「70歳まで働く場の確保」を目標に掲げ、福利厚生だけではなく、社員が感じる不安や不満が軽減される環境を築きます。常に誰かのフォローが受けられる仕組みを構築することで、子育て中の社員が急に欠勤したり、体調がすぐれない場合に、気負わず安心して業務を離れられます。社員たちにとって、会社が安心な場所になるよう努めています。

スイコーは2034年に創業50年を迎えます。ちょうど私の娘が大学を卒業する年になるでしょうか。社員が笑顔でイキイキと働いている輪の中で、共に働いている娘の姿を夢見つつ、私だけではなくスイコーで働く社員の子供たちが入社したくなる会社を実現します。



# 祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.10



松島湾の牡蠣養殖で発生する大量の竹廃材。養殖棚は竹で作られ数年使用する

と生産者が費用負担し処分されています。年間4〜5万本廃棄され続けている竹廃材を何かに生かしたいという思いから活動が始まり、今年6月に脱臭、水質浄化、土壌改良効果が期待できる竹炭の製造を事業とした一般社団法人netom(ねっとむ)を設立しました。

## 宮城から目指すネットゼロ

あんみつ 柴田真希さん

酸化炭素を吸収して成長しているため二酸化炭素の排出量削減に有効と世界的に注目されています。

2時間程度で焼き上がる高速炭焼器で竹炭を生産し、脱臭・水質浄化・土壌改良・燃料等への活用を目指します。一般参加可能な竹炭焼き体験会も開催し、廃棄物の減量だけでなく環境教育等SDGsの実践を通じて子どもから大人までが地域産業と環境を知り共に考える場を提供しています。

地域環境から地球環境につながる再利用可能な資源づくりにみやぎ発ネットゼロを目指し活動を続けていきたいです。



「塾がSDGs?」そう疑問に思われる方も多いのではないのでしょうか。

高校入試でもSDGs関連の問題が増えてきていますので、塾が入試対策としてSDGsを取り扱うことには納得していただけるかもしれません。ただ、私たちがSDGs教育で目指しているのはそれだけではなくありません。一番の目標は「持続可能な社会を実現するためにさまざまな課題へ主体的に取り組む未来の創り手を育てること」です。

例えば今春実施した、東松島のスマート防災エコタウンご協力の「住み続けるまちづくりのアイデアコンテスト」。当塾作成の課題説明動画を見た生徒が、学び、話し

## 未来の創り手を育てる塾を目指して

学研スタディエあすなろ学院 齋藤学さん

合い、考えをまとめました。

生徒たちは学びの過程で、地域課題を自分ごととしてとらえるようになります。そしてCO2を減らすため歩いていける距離に学校や病院などをつくる「一歩」ことで発電する」など大人の想像を超えるアイデアがたくさん出され、最後には表彰を行いました。

今後もたくさんイベントを実施予定です。私はそれらを通し、子どもたちがたくさんを知り、学び、友達と協力することの大切さを感じられるよう、力を尽くします。また、持続可能な社会の担い手、未来の創り手を育てる塾となれるよう挑戦し続けていきたいと思えます。



おめでとうござります!!